

## 全校生徒と全教員で読書に取り組み、読書に慣れ親しむ態度や読書への意欲を高めた事例

学 校 名 熊谷市立江南中学校  
所 在 地 熊谷市江南中央2-1-1  
電話番号 048-536-1335

### 1 本校の概要

熊谷市江南地区は、熊谷市南部に位置し、荒川の恩恵を受けブルーベリー栽培が盛んな地域である。本校は、全校生徒261名、特別支援学級3学級を含む12学級の中規模の学校である。本校では心豊かな人権感覚を身につけた生徒の育成を目指した取組を行っている。図書館教育としては、読書をとおして豊かな心を育むことができるよう以下の実践を行った。

### 2 本校の実践

#### (1) 実践の視点

- ・ a 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・ d 家庭や地域との連携

#### (2) 実践の概要

##### ア 全校一斉朝読書の取組

本校では、毎朝8:25～8:35の時間に、全校一斉に朝読書に取り組んでいる。朝から読書をすることで落ち着いた一日を過ごすことと、読書に慣れ親しむ態度の育成を目的として行っている。

##### イ セせらぎの会による読み聞かせ

年に3回、おはなしボランティア「せせらぎの会」の方に来校していただき、クラスごとに朝読書に替えて読み聞かせを行っている。学校の特色ある取組として長年続いている活動である。



##### ウ 図書委員会の活動

図書委員会の活動例を以下に挙げる。

- ・ 「図書だより」の発行  
図書室の利用の仕方や新着本の紹介、図書委員のお勧めする本を載せている。

##### ・ 学級文庫の活用

各クラスに20冊入った学級文庫を設置している。本の選定は司書教諭と補助員が行っている。朝読書に利用している生徒が多い。定期的に入れ替えをし、本の確認を図書委員が行っている。

##### ・ 学年のオープンスペース利用

各教科に関わる本を生徒たちがすぐに手に取れるように何冊か学年のオープンスペースに置いた。



##### ・ ポップ作成、掲示

図書委員がおすすめの本のポップの作成をし、1年生が国語の教科書に掲載されている作品のポップを作成したものを掲示した。また、図書室前の掲示板と図書室内に新着本の紹介を掲示した。



### 3 成果と今後の課題

#### (1) 成果

ア 朝読書や読み聞かせを行うことにより、落ち着いた雰囲気の中で朝の会を始められ、授業を受けられることができています。

イ 今年度(4月～10月)の図書室利用人数は2493人だった。貸し出し人数は89人、貸出冊数は866冊だった。全体的に昨年度よりも増えた。

#### (2) 課題

オープンスペースの本を手取る生徒が多い。これから本の冊数を増やしていきたい。また、図書室を利用する生徒がある程度決まってきた。新着本やお勧めの本の紹介をもっとしていきたい。

#### (3) おわりに

生徒が自ら読書に親しめるような環境づくりを、教職員の協力を得て今後も模索していきたい。